県指定文化財<史跡>

長明寺坂古墳群（ちょうめんじざかこふんぐん）

指定日　昭和51年2月12日

所在地　菊池市七城町林原・亀尾

菊池平野を北に見下ろす眺望の地に築造された円墳群である。

昭和50年（1975）県道拡張工事中に1号墳の石室が発見され、古墳群の存在が分かった。

1号墳は直径約18m、高さ25mで内部主体は西に羨道（せんどう）を持つ単式の横穴式石室である。玄室（げんしつ）の側壁は、安山岩割石を積み上げ、全面に赤色顔料が塗られている。床には左右に屍床（ししょう）が設けられ、小石を敷いている。天井部は巨岩一枚、室内から人骨、土師器、須恵器が出土している。

これらのことから時代は5世紀後半と考えられ、菊池川上流域における古墳時代の横穴式石室として重要な古墳である。

2号墳は1号墳に連れて発見され、直径23m、高さ5mの円墳、近くの3号墳と共に群を形成しているが、2号墳、3号墳は未調査である。